未来を切りひらくパスポート。
日本情報処理検定協会

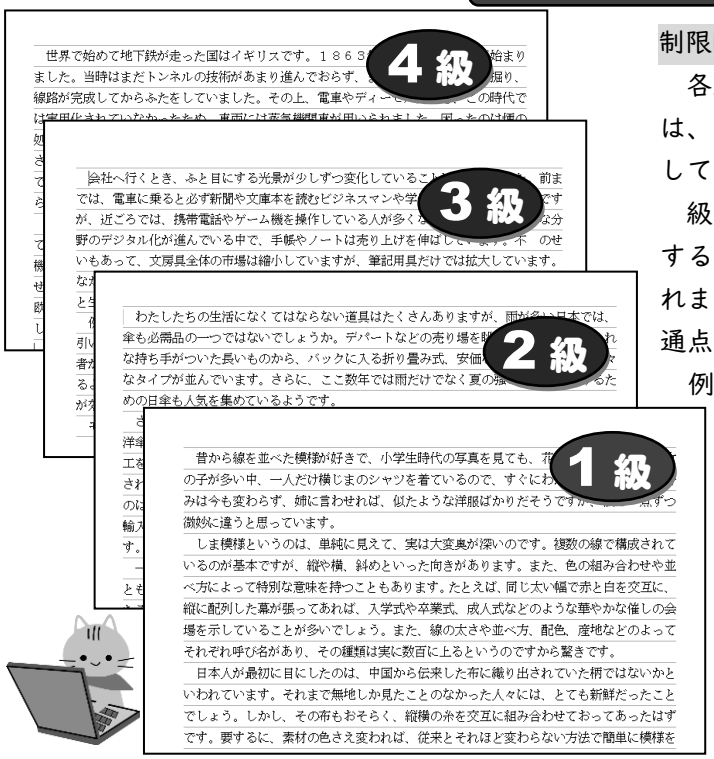
日本語ワープロ検定 について

スマホの普及に伴い、最近の若者はタッチパネル上での文字入力は早く正確に打つことができる一方で、パソコンの文字入力やワード・エクセルなどのソフト操作は苦手な子が多いようです。パソコン操作に慣れてくるとスマホよりはるかに広範囲の作業が容易にできるようになってきますよ～。当塾ではまずはワードの基本操作から始めていきます。

～２０１８年度ワープロ検定合格率（協会全体）～

初段	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級
41%	52%	47%	59%	63%	73%	76%

速度問題 について



制限時間 10 分間で左記のような現代文を入力します。

各級の必要な文字数は以下の通り。当塾の受験の目安としては、5 年生で 4 級＆3 級を、6 年生で 2 級＆1 級を目指して練習していきます。

級が上がるにつれ漢字の難易度も上がり、同時に 1 ミスに対する減点も大きくなるので、正確に速く入力することが求められます。タイピングは指先運動という点では、そろばんとの共通点も多くあり、相乗効果も期待できそう…！

例年、最も早い6年生は 1 級レベルの文章を１０００文字程度は軽々打ってしまいます！

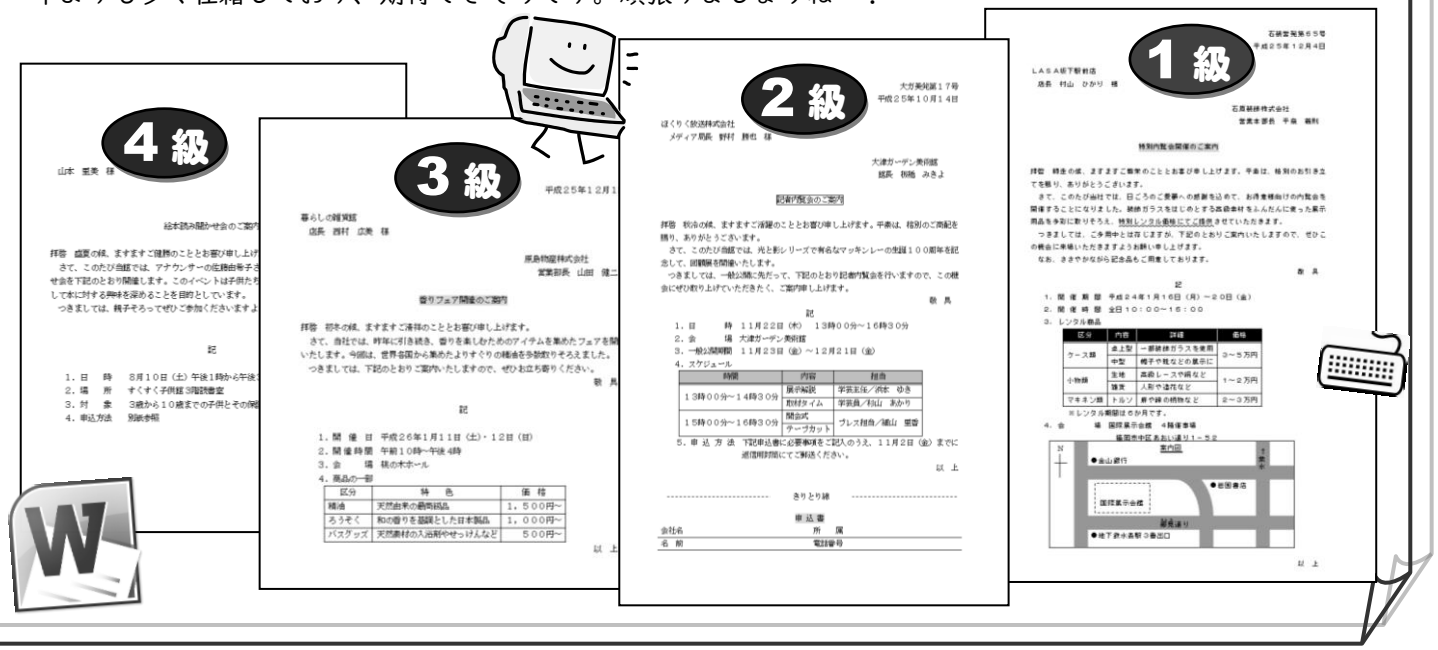
級	初段	1級	準1級	2級
文字数	800文字	700文字	600文字	500文字

準2級	3級	4級
400文字	300文字	200文字

＊上の級になるほど難しい漢字がバンバン出てきます

文書問題 について

各級により少しずつ求められるスキルが異なりますが、完成形は次のような感じになります。（限時間 20 分間）

◆４級…ワードの基本操作 ＋ 文書作成の基本形をマスター　◆３級…シンプルな表の作成・均等割り・インデントなど　◆２級…少し複雑な表の作成・切り取り線など　◆１級…図形機能を活用した地図を正確に作成・テキストボックスの利用・図形の編集など

*やはり 1 級は地図の作成があり、生徒にとって難易度は高いようです。当塾からは毎年２～３名しか合格できない難関試験ですが、きちんと練習すれば、決して不可能ではありません。特に今年の６年生は 1 級受験対象者が例年よりも多く在籍しており、期待できそうです。頑張りましょうね～！